

令和元年 第4回定例道議会報告

北海道議会議員 北口雄幸

- 【所属会派】** 民主・道民連合議員会
- 【議会役員】** 議会選出監査委員
- 【所属委員会】** 環境生活委員会、北方領土対策特別委員会
- 【党活動】** 立憲民主党北海道第6区総支部代表代行、同士別ブロック代表
- 【議会活動】** 林活議連事務局長、農政議連会長代行、がん対策議員連盟幹事長、
- 【日 程】** 令和元年11月26日（火）～12月12日（木）
- 【代表一般質問】** 第4回定例道議会は、11月26日（火）に開会、令和元年度一般会計補正予算、「大学入学共通テストに関する意見書」などを可決し、12月12日（木）に閉会した。

我が会派の代表格質問には、須田靖子議員（札幌市手稲区）が立ち、知事の政治姿勢、行財政運営、交通政策、災害対策、医療・福祉政策、一次産業振興などについて質疑した。一般質問には、木葉淳議員（江別市）、小岩均議員（北広島市）の2議員が立ち、当面する道政課題、地域課題について道の取り組みを質した

- 【主な審議経過】** 知事が提案した補正予算案は、一般会計に61億円6,900万円、特別会計に3億800万円を追加し、合計64億7,700万円となった。これにより前回までの計上額と合わせて、一般会計は2兆8,771億円、特別会計は1兆1,462億円、合計で4兆233億円となった。

補正予算の主なものとしては、災害復旧事業として今年の胆振東部地震、今年の台風8号及び10号などで被害を受けた23市町48箇所の道路・河川の改修費、農業用施設及び治山施設、土木施設の被害の復旧工事費など14億6,900万円を計上。今年の台風19号で大きな被害を受けた宮城県丸森町への応援経費として、道職員の派遣やコンテナ型トイレの設置などに3,800万円。また、地方競馬特別会計補正予算案も提出され、門別競馬場の施設等整備及び情報システムの改修費など1億5,800万円が計上された。

代表格質問での主な課題として、令和2年度重点政策について「策定にあたっては担当職員との議論や対話を通じて各部横断的な政策形成を図っていく」との答弁だったが、そもそも知事選の目玉公約であった『ほっかいどう応援団会議』自体がトップダウンで決められた経緯があることから、ボトムアップ型の行政を展開し職員との信頼関係を構築すべきと質した。

またJR北海道路線維持問題については、年内に道の「基本的な考え方」をまとめるとしているが、素案は抽象的で、国に対し具体的に何を求めようとしているのか全く見えてこない。

さらに幌延深地層研究計画については、第4期計画は、これまでの「20年程度」としてきた道民との約束を反故にするもので、研究終了期限や埋め戻しの工程などが一切示されない不備の提案であり、なし崩し的に最終処分場にされるのではないかとの疑念を抱かざるを得ない。鈴木知事に対し、「道民の疑問や疑念、不満を真摯に受け止め、延長計画の撤回を求めるべき」と質したが、予算特別委員会知事総括質疑において鈴木知事は「研究期間の延長を容認する考え」を表明した。

I Rについて知事は、2021年7月までの国への認定申請を断念する方針を表明する一方で、引き続き誘致を検討する考えを示した。会派としては、道民の意向把握が十分でない、懸念される様々な課題への対策が不明瞭なことから、誘致の是非すら判断できる状況にはないと強調した。

人権政策については、「北海道人権施策推進基本方針」の見直しを第2回定例会以降毎議会ごと道に求めてきた。当初は、見直しの是非も含め具体的な内容に言及することを

知事は避けてきたが、予算特別委員会知事総括質疑では基本方針を見直しする考えを示した。

民間の力を求める取り組みについて道は、北方領土返還要求運動の啓発事業に充てるため、「ほっかいどう応援団会議」のウェブサイトを通じクラウドファンディングで寄付を募集したが、目標額の400万円に対し1万5千円しか集まらず募集を終了した。寄付金額が少なかった時に備え、予め予算措置をしていたため事業は無事執行できたが、そもそもクラウドファンディングに相応しい事業だったのか疑問が残るところだ。

日米貿易交渉について、安倍首相は「両国に利益をもたらすウィンウィン」の合意と評価しているが、本道にとってはルーズウイン（相手の勝ち）でしかない。この結果に対し鈴木知事は、「守り」と「攻め」の施策を展開するとしているが、需要の拡大や輸出拡大の進展、生産量の維持のための取り組み強化が必要と質した。

法定外目的税については、既に検討を進めている市町村に迷惑をかけないように、これまで指摘してきた課題をしっかりと整理し、適切な税制度となるよう指摘した。

大学入学共通テストについては、試験の格差解消と公平性・公正性の担保ができるまで中止を求めるべきと訴えた。また教職員の变形労働時間制については、改正給特法では長時間労働は改善されず、長期にわたる長時間勤務を容認する過労死促進の制度となる危惧があることを全く認識していないと質したが、「国会での審議動向を見極め職場環境の整備に努める」との答弁で、事態の深刻さを重く受け止めていない認識であった。

【令和元年度第4回定例会補正予算】

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
当初予算額	2,870,964,261	1,145,925,100	4,016,889,361
今回補正額	6,169,381	308,254	6,477,635
合計	2,877,133,642	1,146,233,354	4,023,366,996

【採択された決議・意見書】（◎は政審発議、○は委員会発議）

- ◎私立専修学校等における専門的職業人材の育成機能の強化等を求める意見書
- ◎将来にわたり安全・安心な医療制度の提供を求める意見書
- ◎大学入学共通テストに関する意見書
- ◎授業料減免制度の現行水準を維持することを求める意見書
- 日米貿易協定に関する意見書

【当面する課題と対応】

（1）カジノを含むIRへの対応について

鈴木知事は、2021年7月までの国への区域認定申請を見送る一方で、検討を継続する考えも示した。我が会派は代表格質問で誘致を見送るに至った経過と理由を質し、知事は「限られた期間の中で、環境への適切な配慮を行うことは不可能」ということを理由に挙げたが、「来たるべき時には誘致に挑戦できるような所要の準備を進める」との考えも同時に示した。

我が会派は当初から反対の立場で議論をしてきており、ギャンブル依存症や自然環境への配慮、治安悪化、事業の継続性、道民の意向把握が十分でないことなど、懸念される様々な課題への対策が不明瞭であることを強く指摘してきた。同僚議員の一般質問に対しては、「北海道らしいIRの実現に向け、現候補地を基本に誘致の可能性を幅広く検討する」と検討の継続に向けた考えを示した。しかし知事の言う「北海道らしい」とは一体何を意味するのか。道内外そして外国人観光客が求める「北海道らしさ」とは、まさに魅力ある豊かな自然と食だ。ましてや刑法で禁じられている賭博の「もうけ」を、地域振興に活用することが本当の経済政策と言えるのか。知事は、今回の誘致断念を契機に、自然と食を観光

に生かす智慧を最大限に寄せ集め、国際貿易交渉などで厳しい状況に置かれている、北海道の基幹産業でもある一次産業とも連携して、波及効果、相乗効果を生む政策に重点を置くべきだ。

(2) 幌延深地層研究計画について

日本原子力研究開発機構は8月2日、当初計画で「20年程度」としていた幌延深地層研究センター(幌延町)での研究期間を延長する計画を、道と幌延町に提出した。道と幌延町、機構は5回の確認会議を開き、新たに提出された計画の内容を審議した。機構は、引き続き研究開発が必要と考えられる課題を列挙した上で、「研究課題については、令和2年度以降、第3期及び第4期中長期目標期間を目途に取り組み、地層処分の技術基盤の整備の完了が確認できれば、埋め戻しを行うことを具体的工程として示す」としており、これは第3期中長期計画に基づき「平成31年度末までに研究終了までの工程やその後の埋め戻しについて決定する」としてきた既定方針から大きく後退するものである。

研究期間延長の根拠としているのが、「深地層の研究施設計画検討委員会」及び「地層処分研究開発・評価委員会」の評価結果である。しかし、この評価をもって研究継続の根拠とし、唐突に第4期中長期目標期間を設定して、研究期間が曖昧なまま引き続き課題に取り組むことは、単に技術論に偏ったものであり、幌延町に深地層研究センターが設置された歴史的経過と社会的合意を尊重する点では、機構の態度は誠実とは言い難い。

12月6日、知事と幌延町長、機構理事長の三者会談が開催されたが、知事は単に、「協定は守ります」という答を機構から引き出しただけで、協定当事者の責任を果たしていない。そして12月10日の予算特別委員会の総括質疑で知事は、研究期間の延長を容認した。これに対し同僚議員は、「容認の判断に至った経過、さらになし崩し的に最終処分場になるのではないか」との懸念に対し道民に説明するよう求めた。また9年間で研究終了と受け止めた根拠を求めたが、具体的答弁に至らず、「再延長は認めない」と口頭で答弁したものの、その時の知事が誰なのかもわからず、空手形の発言に「無責任」との声が出ています。

【広報等】

- * *道政報告「ゆうこう便り」の発行 2020年1月(冬号)66号
- * ホームページの開設 2007年7月開設、ブログは毎日更新中 <http://y-kitaguchi.net/>
- * FaceBookでも情報発信中 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100005834470895>

「北口ゆうこう」奮闘日記 →

